



第九たいはむず *Beethoven*

No.47 2017.5.18 通刊1237号 担当 幸代

ホームページ: www.takasaki9.com メールアドレス: takasaki9@myad.jp

〒370-0863 高崎市聖石町9-13(赤羽方) TEL/FAX:027-322-0996 緊急 090-1828-8052(小野里)

メイコンサートまであと10日となりました。暗譜は出来ましたか？カルメンでは振りがあり、また曲と曲の間に入退場があります。どのタイミングで入場し、退場するのか、しっかり覚えましょう。10日なんてあっという間に過ぎてしまいます。来週は20時から出来田先生も参加され最後の練習です。

◆ **今日は総会です。(終了後ミニコンサート、メイコンの練習を行います)**

すでにご案内のとおり今日は通常総会です。総会では定数及び議決権の確認を行いますので必ず出席簿に印を押してください。また、委任状を預かっている人はテノール矢島さんにお渡しください。団の運営について報告があり確認、議決を行います。終了後は瀧川先生の司会でミニコンサートです。先生方や、参加希望の団員が出演します。誰がどんな曲を演奏するのか楽しみです。最後は短い時間ですがメイコンの練習を行います。

◆ **メイコンサートについて**

○ **チケットの完売を目指しましょう！！**

チケットの販売状況は如何ですか？たくさんのお客様にご来場いただき楽しんでもらいましょう。チケットを追加で欲しい方は受付にて1枚400円でお渡しします。チラシを活用し、できるだけたくさんの方々に声掛けをして、チケットの完売を目指しましょう！！

○ **車椅子の方のための駐車場**

ご希望の方は、利用される方のお車ナンバーとお名前を、テノール飯田さんにお伝えください。

○ **メイコンCD&DVD、写真**

メイコンサートのCDとDVDは制作予定です。(各1,000円) 詳細は後日お知らせします。写真は井田写真館様に撮影をお願いしています。

○ **メイコン打ち上げパーティ参加申込受付中！ 本日締切ります。**

5月28日のメイコンサート終了後、ホテルメトロポリタン高崎にて17時から打ち上げを行います。申込用紙に会費4,000円を添えて受付に提出してください。(本来5,500円のところ、団で1,500円負担します) 大いに飲み笑い歌い楽しみましょう。

◆ **5月4日(木)特別練習時の駐車料金について**

先週5月4日の駐車料金について、封筒に領収書を入れ名前を書いて提出してもらいましたが、本日清算します。500円以上の人は500円を、500円未満の人はその金額をお渡しします。受付に取りに来てください。(毎月1回清算していただく駐車料金とは別です。お間違えの無いようお願いします。)

◆ **2017団員登録受付中です！(できるだけ5月末までに登録を済ませましょう)**

新年度の団員登録の申込みを付けています。申込書に氏名・住所・メルアドなど全て記入の上、団費(17,000円)を添えて申込みください。

◆ たいむず題字「帯」を募集します

6月から第44回演奏会に向けて第九の練習がスタートします。それに合わせて「たいむず」の題字部分のデザインを募集します。あなたのデザインで「たいむず」を飾りませんか？デザインデータをメールに添付して団のアドレスに送信してください。応募が複数の場合は運営委員会で選考させていただきます。(締切:5月25日(木)) ご応募お待ちしております。

◆ アンケートにご協力ください

団員を増やすために、現団員の皆さまがどのようなきっかけで入団なさったかのアンケートを取らせていただくことになりました。無記名でけっこうです。ぜひご協力をお願いします。

◆ 宮沢和史の旅する音楽:たった一人のために。

「島唄(しまうた)」は、本当はたった一人のおばあさんに聴いてもらいたくて作った歌だ。

91年冬、沖縄音楽にのめり込んでいたぼくは、沖縄の「ひめゆり平和祈念資料館」を初めて訪れた。そこで「ひめゆり学徒隊」の生き残りのおばあさんに会い、本土決戦を引き延ばすための「捨て石」とされた激しい沖縄地上戦で大勢の住民が犠牲になったことを知った。

捕虜になることを恐れた肉親同士が互いに殺し合う。極限状況の話を聞くうちにぼくは、そんな事実も知らずに生きてきた無知な自分に怒りさえ覚えた。

資料館は自分があたかもガマ(自然洞窟<どうくつ>)の中にいるような造りになっている。このような場所で集団自決した人々のことを思うと涙が止まらなかった。

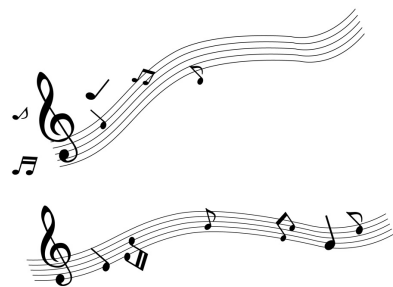
だが、その資料館から一歩外に出ると、ウージ(さとうきび)が静かに風に揺れている。この対比を曲にしておばあさんに聴いてもらいたいと思った。

歌詞の中に、ガマの中で自決した2人を歌った部分がある。「ウージの森で あなたと出会い ウージの下で 千代にさよなら」という下りだ。「島唄」はレとウがない沖縄音階で作ったが、この部分は本土で使われている音階に戻した。2人は本土の犠牲になったのだから。

みやざわ・かずふみ。66年生まれ。歌手
2005年8月22日 朝日新聞(朝刊)より

◆ 産経新聞に掲載 されました!

5月16日の産経新聞に掲載されました。本番さながらに熱の入った練習の様子がうかがえますね。



老若男女100人 連日の猛稽古



高崎第九合唱団 28日に大公演

設立から43年を数え、内外で公演活動をしてきた高崎第九合唱団(赤羽洋子団長)のメイコンサートが28日、高崎市の群馬音楽センターで開かれる。約100人の団員がオペラ「カルメン」を上演し、八木節や島唄なども披露する予定。年1回の大公演を目前にし、団員らの稽古は佳境を迎えている。

(久保まりな、写真も)

「カルメン」のほか八木節や島唄も

今回の公演には、20〜80代という幅広い年齢層の団員約100人が、今年1月から歌詞を覚えるなどの稽古を重ねる。毎週木曜日の通常のものに加え、ゴールデンウィーク中の4日には高崎市内で約2時間の特別稽古を行った。

この日は、「カルメン」でタイトルロールを演じる高崎出身のソプラノ歌手、出来田三智子さんも参加。団員らは、舞台となる1820年代ごろのスペインにあるたばこ工場で働く人のイメージで、各自が用意した衣装に身を包んで稽古に臨んだ。赤羽団長が「地面に向かって歌わないで」「表情が暗い」などと声を上げて指導する中、舞台上での動きや表情のよしあしなど細かい点まで確認した。

高崎第九は、昭和49年に設立され、団員はプロからアマチュアまでの老若男女約140人になる。

「音楽を通じて、世界を平和にしたい」(赤羽団長)との思いで、毎年5月ごろにオペラなどを披露するメイコンサートを実施しているほか、ペーパードライヴの祖国ドイツなどを含めた海外公演も8回実現している。

特別稽古での仕上がりについて赤羽団長は「まだまだです」と表情を引き締めるが、「カルメン」は日本人が大好きなオペラ。誰でも1回は聞いたことがある曲が出てくるので、ぜひ公演に足を運んでほしい」と話している。

チケットは全席自由で1千円。公演は28日午後2時から。チケット問い合わせは☎070・4455・2119